

第177回 全経簿記検定試験 上級 一工業簿記一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

〔丸数字は予想配点、合計 100 点〕

問 1

製品単位当たり標準変動製造費	㊸	7,200	円
半製品単位当たり標準変動製造費	㊸	3,000	円

問 2

月末仕掛品標準原価	㊸	1,176,000	円	月末製品標準原価	㊸	1,296,000	円
標準売上原価	㊸	6,720,000	円				

問 3

直接材料費	価格差異	㊸	53,000	円	(借方差異)
	数量差異	㊸	15,000	円	(貸方差異)
第1工程 直接労務費	賃率差異	㊸	37,000	円	(貸方差異)
	時間差異	㊸	35,000	円	(借方差異)
第1工程 変動製造間接費	予算差異	㊸	18,500	円	(借方差異)
	能率差異	㊸	17,500	円	(借方差異)

問 4

第2工程仕掛品—直接労務費 (単位:円)

前月繰越 (㊸ 720,000)	(製品)	(㊹ 2,250,000)
賃金 (㊸ 1,748,000)	(賃率差異)	(㊸ 23,000)
() ()	(作業時間差異)	(㊸ 15,000)
() ()	(次月繰越)	(㊹ 180,000)

問 5 利益計算において控除する金額の前にはすべて△をつけなさい。

月次損益計算書 (単位:円)

売上高	(㊸ 12,100,000)
標準売上原価	(△ 6,720,000)
標準変動製造マージン	(㊹ 5,380,000)
標準変動販売費	(㊸ △ 525,000)
標準 (貢献利益)	(4,855,000)
変動費差異	(㊸ △ 53,000)
実際 (貢献利益)	(4,802,000)
固定製造間接費予算	(㊸ △ 1,900,000)
予算差異	(㊸ 5,000)
固定販売費・一般管理費予算	(㊸ △ 800,000)
予算差異	(㊸ △ 21,000)
営業利益	(㊹ 2,086,000)

問 6

損益分岐点売上高	④ 6,918,026 円
----------	---------------

問 7

	第 1 工程	第 2 工程
予算差異	② 12,000 円 (借方差異)	② 17,000 円 (貸方差異)
能率差異	② 22,500 円 (借方差異)	② 8,000 円 (借方差異)
操業度差異	② 67,500 円 (借方差異)	② 80,000 円 (借方差異)

問 8 調整計算において控除する金額の前に△をつけなさい。

(単位：円)

直接標準原価計算による 実際営業利益	3,200,000
期末分固定製造間接費	(③ 807,000)
期首分固定製造間接費	(③ △ 1,562,000)
全部標準原価計算による 実際営業利益	(2,445,000)

問 9

異常な状態に基づく差異を除き、予定価格等が不適当なため、比較的多額の原価差異が生ずる場合に、
棚卸資産と売上原価に追加配賦する必要がある。⑤